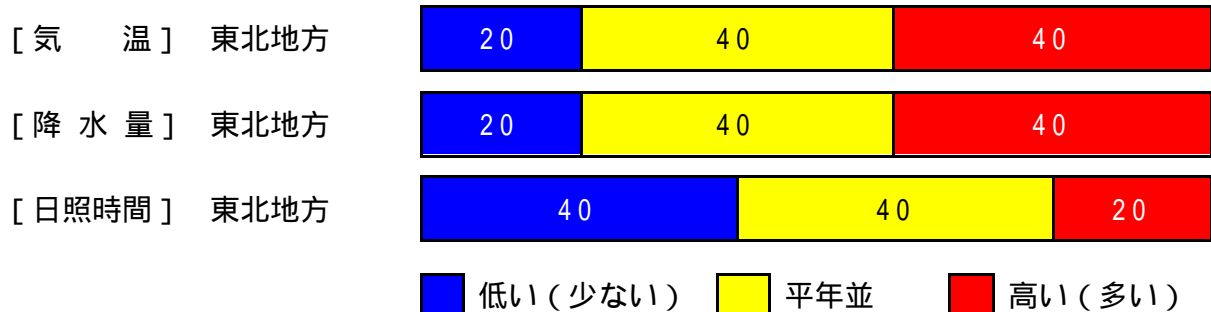


## 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：5 月 26 日～6 月 25 日）

平成 13 年 5 月 25 日 仙台管区气象台

### 1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[ 気 温 ]: 東北地方は「平年並」か「高い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「低い」の可能性は 20％と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北地方は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北地方は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

### 2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方の天気はおおむね周期的に変化しますが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。後半は、オホーツク海高気圧の影響で一時気温が低くなる見込みです。

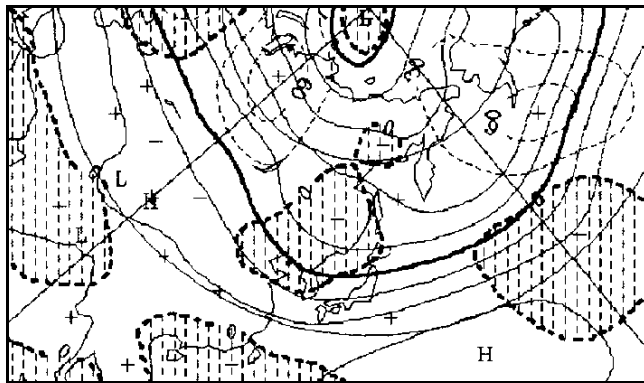
平均気温は平年並か高いでしょう。

向こう 28 日間の晴れ日数：東北地方で約 14 日

各予報期間の天候の特徴

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 1 週目……………<br>(5 月 26 日～6 月 1 日)   | 期間の初めと終わりは気圧の谷や前線の影響で雨の降る所がありますが、その他の日はおおむね晴れるでしょう。<br>平均気温は平年並でしょう。<br>平年の晴れ日数：東北地方で約 4 日    |
| 2 週目……………<br>(6 月 2 日～6 月 8 日)    | 天気はおおむね周期的に変化するでしょう。<br>平均気温は平年並でしょう。<br>平年の晴れ日数：東北地方で約 4 日                                   |
| 3～4 週目……………<br>(6 月 9 日～6 月 22 日) | 前線や低気圧の影響を受け曇りや雨の日が多いでしょう。オホーツク海高気圧の影響で一時気温が低くなる見込みです。<br>平均気温は平年並でしょう。<br>平年の晴れ日数：東北地方で約 6 日 |

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

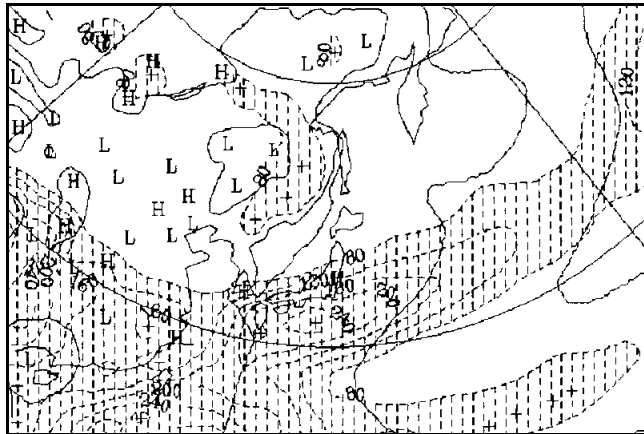


月平均の 500hPa 高度・偏差  
（等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・ 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本の南東海上の太平洋高気圧は平年より強く、日本付近は弱い正偏差に覆われる。西谷傾向で前線や低気圧の影響を受けやすいが、天気は周期変化が基調となる。

週別（図略）では、1 週目は西谷。東北地方は中国東北区に中心を持つ負偏差域に覆われる。2 週目はほぼ日本谷。東北南部は正偏差だが、東北部はカムチャツカ半島から北海道にかけて広がる負偏差に覆われる。3～4 週目は日本付近は弱い西谷だが、オホーツク海付近に気圧の尾根が予想される。

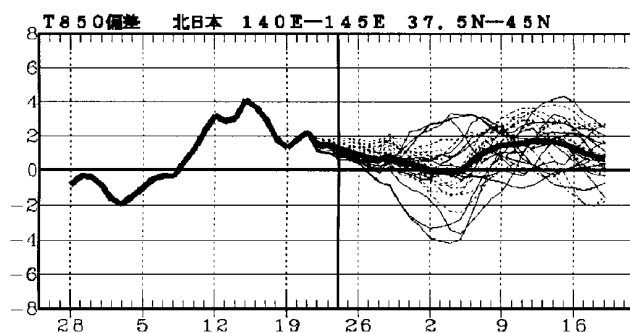


月平均の地上気圧と降水量  
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本付近は弱い高圧部。日本の南岸に梅雨前線に対応するまとまった降水域があり、東北南部までかかっている。

週別（図略）では、1 週目は低気圧や前線の影響で東北部まで降水域がかかる。2 週目は降水域は東北南部で、まとまった降水域は日本の南岸。3～4 週目は、前線に対応するまとまった降水域が本州南海沿いで明瞭になる。また、オホーツク海高気圧が予想されており、一時気温が低くなる見込み。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想  
（縦軸：気温平年差（℃） 横軸：日付）  
発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）

・ 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

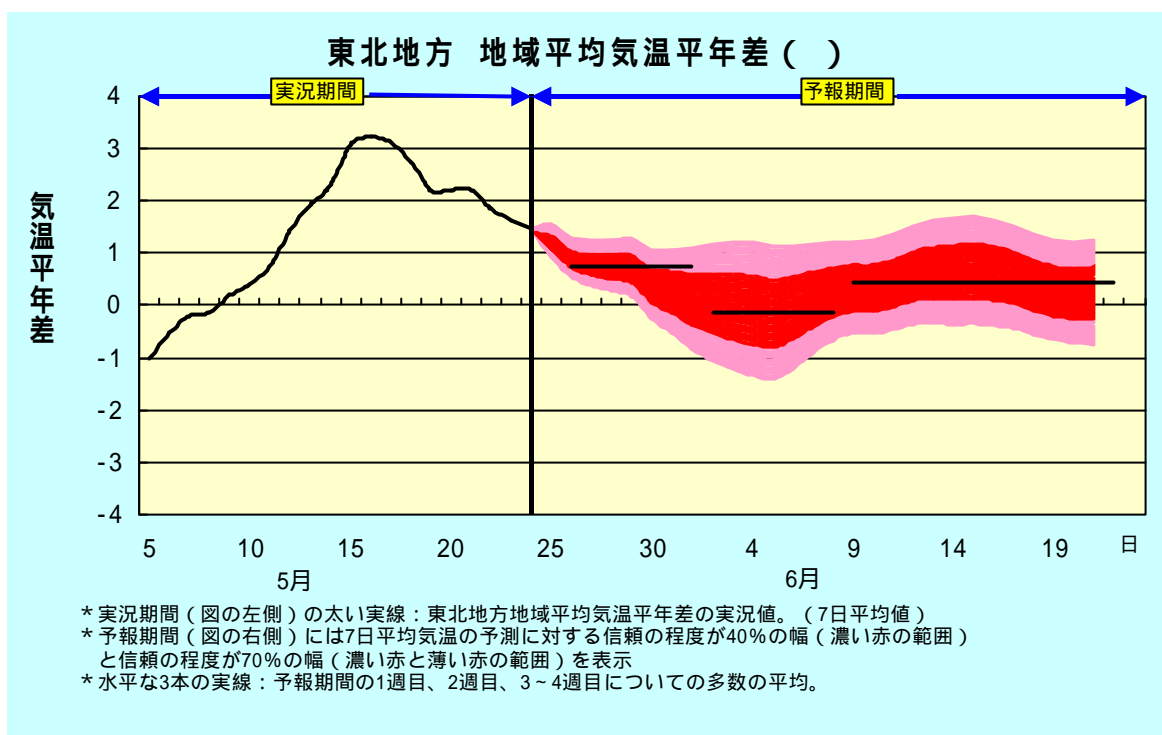
アンサンブルメンバーの平均は緩やかに下降し、2 週目にはほぼ平年並になる。3～4 週目は上昇し平年に比べ 2 度近く高くなる。

ただし、1 週目半ばから 2 週目にかけて、各メンバーのばらつきが大きいため、信頼度は小さい。

### 3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1 週目「高い」、2 週目「平年並」、3～4 週目「高い」を予測している。予報は 1 週目は週間予報の資料から「平年並」、3～4 週目は地上天気図でオホーツク海高気圧が予想されることから「平年並」に修正する。

なお、1 週目半ばから 2 週目にかけてメンバー間の予想のばらつきが大きいいため、予報の信頼度は小さい。

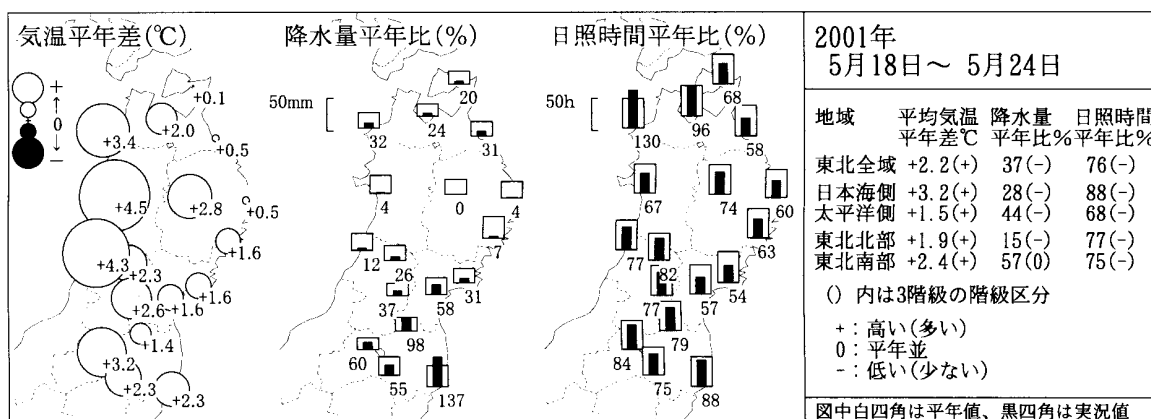


### 4．最近1週間（5月18日～5月24日）の天候の経過

この期間、18～20日は高気圧に覆われ東北地方は概ね晴れたが、19日は気圧の谷の影響で一時雨や雷雨となった。21日以降はオホーツク海高気圧や日本の南岸をゆっくり進んだ低気圧の影響で曇りの日が多く、23日～24日は東北南部を中心に久しぶりのまとまった雨となった。

21日以降は東よりの冷たく湿った風が吹いたため、東北太平洋側の北部では最高気温がかなり低くなったが、東北日本海側では気温が上がり真夏日になるところがあった。

平均気温は、東北地方で平年差+2.2 と高かった。降水量は、東北南部では平年比 57%と平年並だったが、東北北部で平年比 15%と少なかった。日照時間は、東北地方で平年比 76%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）